

ついでに レポート No. 453



日本共産党区議会議員 おぐり智恵子の議員活動報告

発行・日本共産党中央区議会議員団 Tel 3546-5563

HPアドレス <http://www.jcpchuo-kugidan.jp/>

ジェンダー平等社会へ

男女の賃金格差の「見える化」を



ジェンダー平等社会をめざす
日本共産党の政策などを訴える
おぐり智恵子＝7月2日、
水天宮前

日本の平等達成率は後退

世界経済フォーラム（本部・スイス）が7月13日、各国の男女平等の達成度を指数で示した「ジェンダーギャップ報告書」2022年版を発表しました。日本の平等達成率は65・0％で、21年の65・6％から後退しました。順位は調査対象146カ国中116位と低位で、主要7カ国の中では最下位が続いています。

生涯賃金で1億円の差

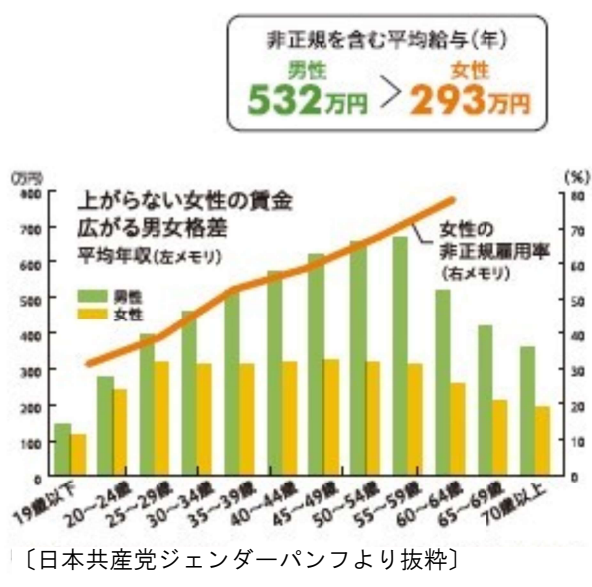
賃金の平等はジェンダー平等社会を築くうえでの土台ですが、日本では依然として、大きな男女の賃金格差が残っています。

正社員でも、女性の賃金は男性

の77・6％（厚生労働省、2021年賃金構造基本統計調査）で、非正規を含む平均給与では、男性532万円、女性293万円（国税庁、民間給与実態統計調査2020年分）です。

賃金格差の公表義務付け

今年5月、政府は、女性活躍推進法にもとづく情報公表制度や有価証券報告書において、男女賃金格差の公表を義務付ける方針を明らかにしました。世論と運動、日本共産党の山添拓参議など長年の



国会論戦などが動かしただけで重要な前進です。

区職員の賃金格差「見える化」

私（おぐり智恵子）は、7月4日、区議会企画総務委員会で、この問題を取り上げました。

私は、男女別賃金格差を「見える化」し、事実に基づいて格差をなくしていく施策を推進することが重要だと強調し、

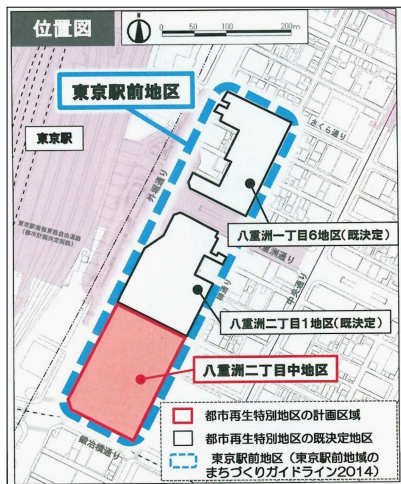
①労働者301人以上の企業に男女賃金格差の公表が義務付けられるが、中央区として公表がきちんと行われるよう、どう進めていくのか

②中央区職員の男女賃金格差を公表し「見える化」を求めました。

区の担当課から「中央区も（職員数が301人を超えるので）公表の対象になる」と答弁がありました。格差是正に向けた重要な第一歩です。

おぐりフログ
ご覧ください▼





委員会資料より④3地区の位置図
⑤八重洲二丁目中地区の外観イメージ図



「三つ子の摩天楼」計画進行中

東京駅八重洲口で、3地区の市街地再開発事業が進行中です。

東京駅に向かって八重洲通り左側の八重洲二丁目1地区（位置図参照）は、「東京ミッドタウン八重洲」として、まもなく完成。巨大オフィスビルに併設される城東小学校は、9月からここで授業開始となります。

八重洲通右側の八重洲一丁目6地区は現在解体工事中です。

八重洲二丁目中地区について、6月議会に特別区道の路線の廃止及び変更の議案が提出されました。

八重洲二丁目中地区の区道廃止に反対

八重洲二丁目中地区市街地再開発事業は、2017年5月の中央区都市計画審議会で審議され、同年9月に都市計画決定され、2021年10月、三井不動産などを中心に再開発組合が設立されました。

敷地面積約2万㎡の区域に、地上46階・地下4階、高さ約240m、延べ床42万㎡の巨大オフィスビルを建設する計画です。

東京駅前の2地区と地下で連結させたバスターミナルを整備し、この開発で7バス、3地区合計で20バス整備するとしています。

2017年5月の中央区都市計画審議会で、日本共産党は「同意率が7割と低く、計画に反対する意見書も提出されていること、都市再生への貢献として指定容積率800%であるものが1670%に上乗せされていること、海外からヒト、モノ、カネを集中させようとする国家戦略特区の問題点、風環境の問題など」を指摘し、都市計画案に反対しました。

今回提出された議案は、この再開発計画の進捗に伴い、区民の共通の財産である区道を廃止する議案であるため、認めることはできません。

しかも、今現在もこの地域で再開発事業に反対している地権者がいるのに、きちんとした説明もなく区道を廃止する手続きを進めることは、同意していない地権者、強制執行のような不安を与えることになり、問題だと考えます。

.....

日本共産党区議団は、環境建設委員会で、上記の意見を表明して反対しました。本会議では私たち2名と子どもを守る会1名が反対しましたが、賛成多数で可決、区道の廃止が決定されました。

特別区道の路線の廃止及び変更

廃止及び変更前



廃止及び変更後

